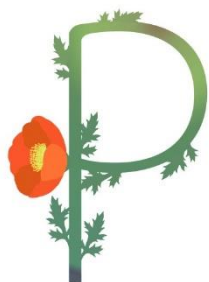


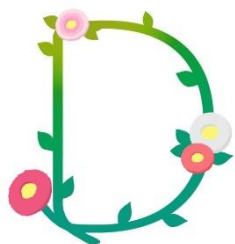
学習評価の仕方

1. プラン（計画）



- ①学年で「学びスイッチ」を作る。
※1年生は、実態に応じて子どもがわかるように伝える。
- ②指導書の指導計画・評価計画を見て、本単元のどのタイミングで3つの評価をとるかを定める。
1単元、1回ずつメインで評価を取る時間を学年で揃える。（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）
※+テスト評価も加える。
- ③決まったもの（②）を、単元が始まる前に名簿に記入しておく。
※「何時間目」に「何（「知・技」、「思・判・表」、「態度」）を評価する。⇒学期末にノートを集めて評価×

2. ドゥ（実行）



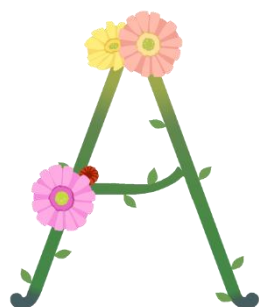
- ①授業を行う。
- ②授業の最後に、学びスイッチを使って振り返りを書かせる。
※1年生は、2学期以降書けるようになってきたら、ノートに振り返りを書かせる。

3. チェック（評価）



- ①学習評価をつける。（授業内・授業後・テスト）
※「主体的に学習に取り組む態度」については、学びスイッチも参考にする。（学びを調整する態度が見られるか。）
- ②単元終了後、3つの観点の最終評価（A・B・C）を決める。
※名簿（または Te-compass）に記入しておく。

4. アクト（改善）



- ①授業改善（Pに戻る。）